

2.1.12 行動計画の策定

アクションプラン(行動計画)として策定されて水循環計画および一部のマスタープランでは、対策の役割分担が示されている。

水需給計画や緑の基本計画、下水道整備計画等の従来計画では行政分野毎に対策項目が整理されているのに対し、水循環計画では課題となっている項目毎に対策項目が分類・整理され、それを実施する主体が示されているのが特徴的である。

実施主体の具体化については、行政・住民・NPO・企業等の分類のみを示している場合が多いが、アクションプランとして策定された水循環計画には、具体的な部局名やNPOまで設定している事例もみられる。

<解説>

(1) 役割分担の設定事例

印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画書で役割分担を設定した事例を示します。計画書本文中では図 2-16 のように役割分担のイメージと行政・住民・NPO・企業等の分けけまでを示し、添付資料で表 2-7～表 2-9 に示すような具体的設定を行っています。



図 2-16 役割分担を示した事例(印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画書より引用)

表 2-7 役割分担を具体的に示した事例(印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画書より引用)

緊急行動計画での実施対策の役割分担

| 対策の主要な観点 | 現状と課題 | 対策のねらい | 対策メニュー | 流域住民・市民団体 | 土地改良区・漁業協同組合 農業従事者・漁業従事者 |
|------------------------------|---|-------------------------|--|--|---|
| I 平常時 水量回復 | <ul style="list-style-type: none"> 地下浸透量減少 湧水の漏洩・減少 地下水揚水量増加 | A 地下水涵養量の確保 | イ) 雨水浸透施設の整備 | 2)各戸貯留・浸透施設の設置 | |
| | | B 自然地の保全・土地利用の適正化 | ロ) 緑地・自然地の保全 | 8)家庭の敷地内緑化 | 7)農地・生産緑地の保全 7)21世紀土地改良区創造運動の展開による調査・研究 |
| | | C 地下水の保全 | ハ) 地下水の適正利用 | 11)家庭における節水、節水の促進 | 11)自動給水栓等制御装置の設置指導 12)農業用地下水使用量の節水 |
| II 水質改善 | <ul style="list-style-type: none"> 発生源荷量の増大 面源負荷発生量の増大 未処理生活雑排水の放流 河川自浄機能低下 河川・沼水質悪化 | D 点源負荷発生量の削減 | ニ) 下水道整備 | 14)下水道への接続 14)下水道への接続の促進 | |
| | | | ホ) 下水道以外の生活系負荷対策 | 16)合併処理浄化槽の設置・転換・促進 17)高度処理型合併処理浄化槽の設置・設置促進 19)家庭における生活雑排水負荷の削減・削減促進 | |
| | | | ヘ) 産業系負荷対策 | 20)家畜排泄物処理施設の設置 21)畜産堆肥野積み改善 | 21)稲発酵粗飼料の畜産農家への供給 21)畜産からの堆肥の受け入れの推進 |
| | | E 河川等における浄化 | ト) 河川・水路等における植生浄化 | 24)25)植生浄化施設の維持・管理活動への参加 | 24)25)植生浄化施設の維持・管理 |
| | | | チ) 多自然型川づくり リ) 河川等における直接浄化 又) 河川内堆積負荷の削減 | | |
| | | F 面源負荷発生量の削減 | ル) 河川清掃等 | 29)30)ゴミ清掃、草刈り活動への参加 29)30)ゴミ清掃、植生の草刈り等の実施 31)不法投棄の監視推進 | 29)30)ゴミ清掃、植生の草刈り等の実施 31)不法投棄の監視 |
| | | | ヲ) 市街地降雨流出負荷の削減 ヅ) 農業系負荷の削減 | 34)側溝等の清掃 | 35)施肥法の改善 35)環境保全型農業推進のための啓発活動 37)農業排水路の管理 38)ちばエコ農業への参加 |
| | | G 印旛沼の流動化 | カ) 森林系負荷の削減 | 39)間伐・枝打ち・下草刈り活動への参加 | |
| | | | ヨ) 沼の流動化 ク) 沼からの負荷削減 | | |
| | | H 印旛沼の浄化 | レ) 沼内における植生浄化 ク) 水生植物の保全・復元 | 42)植生浄化施設の維持・管理活動への参加 42)水生植物の保全・復元 | 42)水生植物の保全・復元 |
| コ) 沼清掃等 | 29)ゴミ清掃の実施・参加 31)不法投棄の監視強化 | | 31)不法投棄の監視 | | |
| III 生態系 保全・ 復元 | <ul style="list-style-type: none"> 水生植物の減少 水辺地・湿地の減少 生物生息場の減少 | I 流域における生態系の保全・復元 | ツ) 緑地・自然地の保全 | | |
| | | J 印旛沼・流入河川における生態系の保全・復元 | ネ) 水生植物の保全・復元 43)ピオトープの維持・管理 ナ) 水系連続性の確保 ヲ) 外来種の対策、在来種の保全 | 43)ピオトープの維持・管理活動への参加 43)ピオトープの維持・管理 | 43)ピオトープの維持・管理 |
| | | K 親水性の向上 | ム) 自然水辺の復元 | 45)親水拠点の利用 | 45)親水拠点の運営 |
| IV 親水性 向上 V 意識啓発 | <ul style="list-style-type: none"> 水辺で従事する人々の減少 伝統的行事の衰退 自然水辺の減少 | L 人と水の関わりの強化 | ウ) 情報提供 | 46)パンフレット等の作成 | 46)パンフレット等の作成 |
| | | | キ) 市民活動の支援 | | |
| | | | ノ) 環境学習 | 51)環境学習教材の作成 52)学習会・講演会等への参加 52)学習会・講演会等の開催 53)船上見学会の実施 | 52)流域住民への学習会・講演会等の参加促進 53)船上見学会実施の協力 |
| VI 水害被害 の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> 流域市街化・河道面線化・排水路網整備による降雨流出時間短縮と洪水ピーク流量の増大 土地利用高度化による洪水被害の増大 | M 印旛沼の治水安全度の向上 | ク) 印旛沼の治水容量の確保 ヤ) 利根川への放流量の増加 マ) 放流先河川河道整備 | | |
| | | N 流入河川の治水安全度の向上 | ケ) 河道整備 | | |
| | | O 流域の流出抑制 | フ) 流域対策の推進 | 2)各戸貯留浸透施設の設置 | 60)畦畔高確保による雨水の貯留 |
| | | P 内水排除 | コ) 排水機場の整備 | | 61)排水機場の整備 |
| | | Q 水循環の現状把握 | ニ) 環境調査の実施 | 62)環境調査活動への参加 62)環境調査活動の実施 | 62)環境調査の継続的な実施 |
| VII 調査・ 研究 | <ul style="list-style-type: none"> 継続的な流域情報収集、水循環健全化のための知見、研究の必要性 | R 水循環健全化に向けた研究の促進 | テ) 研究の促進 | | |

表 2-8 役割分担を具体的に示した事例(印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画書より引用)

印旛沼流域水循環健全化に向けた対策(3/11)

複数の対策メニューに関連する対策(※印)については、初出のみに対策内容を記述し、以降は省略した。

| 主要な観点 | 対策メニュー | No. | 対策 | 実施主体 | | 期間 | 対策内容 |
|------------------|------------|--------|--|----------|---|--|---|
| | | | | 主体名 | 担当部署 | | |
| ハ) 地下水の適正利用 | | 11 | 揚水量の削減 | 印旛沼土地改良区 | 水道局 総務企画課、浄水課 | H15~22 | 自動給水栓等の制御装置の設置・指導(肥料流出抑制) |
| | | | | 千葉県 | 成田土地改良事務所 関連部署:八街市、富里市 | H15~22 | 成田給水場の水源井については、非常用予備水源としてのみ利用 |
| | | | | | 千葉県 | 北総中央農水水利事業 実施箇所:富里市 ・県営土地改良総合整備事業(H15~22) 実施箇所:勝田川上流地区(H15)、H16~未定 ・地下水から河川水への転換を推進 ・工事完了後、印旛沼流域内へ地下水代替用水への通水 | |
| | | | | 千葉県 | 北総中央農水水利事業 実施箇所:八街市流台地先(H15)、H16~未定 ・地下水から河川水への転換を推進 ・工事完了後、印旛沼流域内へ地下水代替用水への通水 | | |
| | | | | 千葉県市 | 環境保全部環境規制課 | H15~22 | 千葉県環境保全条例による地下水の揚水規制 |
| | | | | 船橋市 | 環境保全課 | H15~22 | 地下水使用量の規制 千葉県および船橋市環境保全条例に基づく地下水の採取規制 |
| | | 12 | 地下水使用量の規制 | 千葉県市 | 環境保全部環境保全課 | H15~22 | 千葉県環境保全条例に基づき ・事業場の揚水量調査の実施 ・許可揚水量の遵守、揚水量削減などの指導 ・施設設置の際の立ち会い検査の実施 |
| | | | | 八千代市 | 経済環境部環境保全課 | H15~22 | 千葉県環境保全条例に基づき、揚水許可、揚水量の適正管理指導 規制対象外の揚水施設について、設置の自粛指導 |
| | | | | 鎌ヶ谷市 | 環境保全課 | H15~22 | 千葉県環境保全条例に基づき、揚水許可、揚水量の適正管理指導 規制対象外の揚水施設について、設置の自粛指導 |
| | | | | 印西市 | 水道課 市民経済部生活環境課 | H15~22 | 上水道給水区域内の小規模水道組合及び大規模な揚水施設を持つ事業所等に上水道への切り替えを要請 |
| | | | | 千葉県 | 水質保全課 | H15~22 | 「工業用水法」、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」及び「千葉県環境保全条例」に基づく地下水の揚水規制 |
| | | | | 千葉県市 | 建設部下水道計画課 | H15~22 | 処理人口:3.3万人(1.4万人増) |
| II 水質改善 | ニ) 下水道整備 | 13 | 下水道の整備 | 船橋市 | 下水道部下水道計画課 | H15~22 | 処理人口:13.0万人(2.0万人増) |
| | | | | 成田市 | 土木部下水道課 | H15~22 | 処理人口:1.3万人(0.3万人増) |
| | | | | 佐倉市 | 土木部下水道課 | H15~22 | 処理人口:17.0万人(1.3万人増) |
| | | | | 八千代市 | 土木部下水道建設課 | H15~22 | 処理人口:9.3万人(1.6万人増) |
| | | | | 鎌ヶ谷市 | 土木部下水道建設課 | H15~22 | 処理人口:1.5万人(0.04万人増) |
| | | | | 四街道市 | 都市部下水道課 | H15~22 | 処理人口:8.1万人(1.9万人増) |
| | | | | 八街市 | 都市建設部下水道課 | H15~22 | 処理人口:1.7万人(0.4万人増) |
| | | | | 印西市 | 都市建設部下水道課 | H15~22 | 処理人口:4.3万人(1.3万人増) |
| | | | | 白井市 | 環境建設部上下水道課 | H15~22 | 処理人口:4.1万人(0.3万人増) |
| | | | | 富里市 | 都市建設部下水道課 | H15~22 | 処理人口:0.2万人(0.07万人増) |
| | | | | 酒々井町 | 下水道課 | H15~22 | 処理人口:2.1万人(0.2万人増) |
| | | | | 印旛村 | | H15~22 | 処理人口:1.5万人(1.0万人増) |
| | | | | 本埴村 | 企画建設課 | H15~22 | 下水道計画の見直し 千葉ニュータウン地区での、公共下水道計画の適宜見直し |
| | | | | 栄町 | まちづくり推進事業部建設管理室 | H15~22 | 処理人口:1.6万人(0.2万人増) |
| | | | | 14 | 下水道への接続 | 千葉県市 | 管理部普及課 |
| 船橋市 | 下水道部下水道管理課 | H15~22 | 水洗便所改造資金貸付 水洗化指導業務委託 広報活動、各種説明会、下水道の日イベント等 | | | | |
| 成田市 | 土木部下水道課 | H15~22 | 未接続世帯への接続PR | | | | |
| 佐倉市 | 土木部下水道課 | H15~22 | 未接続者へのパンフレット送付・電話・戸別訪問による普及活動 広報紙・ホームページでの啓発 | | | | |
| 八千代市 | 土木部下水道業務課 | H15~22 | 貸し付け制度の周知 水洗化の促進 | | | | |
| 鎌ヶ谷市 | 土木部下水道管理課 | H15~20 | 未水洗化世帯への訪問、パンフの配布 | | | | |
| 四街道市 | 都市部下水道課 | H15~22 | 水洗便所改造資金助成金制度の実施 | | | | |
| 八街市 | | H15~22 | 広報等による下水道普及のPR | | | | |
| 印西市 | 都市建設部下水道課 | H15~22 | 水洗便所改造資金の貸し付け ホームページ・広報紙による普及PR | | | | |
| 白井市 | 環境建設部上下水道課 | H15~22 | 啓蒙品及びチラシの配布 戸別訪問 | | | | |
| 富里市 | 都市建設部下水道課 | H15~22 | 独自啓発パンフレット等の作成 戸別訪問による接続推進の強化 | | | | |
| 酒々井町 | 下水道課 | H15~22 | 広報紙等での接続のPR | | | | |
| 印旛村 | | H15~22 | 整備完了地区での接続促進 | | | | |
| 栄町 | | H15~22 | 広報紙による啓発 水洗化便所への改造資金の融資斡旋 | | | | |
| ホ) 下水道以外の生活系負荷対策 | | 15 | 農業集落排水施設の整備 | 千葉県市 | 農政部農業環境整備課 | H15~19 | 実施箇所:谷田地区470人、富田地区410人、更科地区1,440人 処理人口:8,650人 |
| | | | | 佐倉市 | 経済環境部農政課 | H15~22 | 施設の維持管理及び修繕 将来的には公共下水道に接続 処理人口(H22):450人 |
| | | 千葉県 | 農林水産部農村整備課 | H15~20 | 農業集落排水事業の整備 実施箇所:谷田地区(千葉県市)、他2地区で継続実施 処理人口:2,320人 | | |
| | | 16 | 合併処理浄化槽への転換 | 千葉県市 | 環境管理部業務課 | H15~22 | 設置者への補助金の交付(高度処理型を含む) 実施規模:10基24人(H15)、各年100基(千葉県全域)(H16~17) |
| 船橋市 | 環境部環境衛生課 | | | H15~22 | 合併処理浄化槽転換補助制度の導入(H17) 補助金の交付 実施規模:260基(H15予定) | | |

表 2-9 役割分担に工程・内容等を示した事例(印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画書より引用)

印旛沼流域水循環健全化に向けた対策(4/11)

複数の対策メニューに関連する対策(※印)については、初出のみに対策内容を記述し、以降は省略した。

| 主要な観点 | 対策メニュー | No. | 対策 | 実施主体 | | 期間 | 対策内容 |
|-------|--------|-----|------------------|---------------|------------|--------|---|
| | | | | 主体名 | 担当部署 | | |
| | | | | 成田市 | 環境部環境衛生課 | H15~22 | 設置者への補助金の交付 実施規模：200基 (H15予定) 事業費：9,659.2万円 (H15予定) 転換については、従来の補助金に18万円の上乗せ補助の実施 |
| | | | | 佐倉市 | 経済環境部生活環境課 | H15~22 | 設置者への補助金の交付 実施規模：50基150人 (H15) 助成額：1,000万円 |
| | | | | 八千代市 | 経済環境部環境保全課 | H15~22 | ・設置者への補助金の交付 実施規模：各年度50基設置、事業費：2,000万円程度 (予定) ・転換補助金上乗せ制度 実施規模：各年度20基、事業費：360万円程度 (予定) |
| | | | | 四街道市 | 環境経済部環境政策課 | H15~22 | 転換補助金の交付 実施規模：30基 (H15)、事業費：1,323万円 |
| | | | | 八街市 | 生活環境課 | H15~22 | 補助金の交付、転換補助基数の増加 実施規模：20基 |
| | | | | 印西市 | 市民経済部生活環境課 | H15~22 | 設置補助金の交付、転換補助制度を新設 実施規模：年間80基 (うち転換60基) |
| | | | | 白井市 | 環境建設部環境課 | H15~22 | 設置及び転換の補助金の交付 H15：20基 (200人)、事業費：360万円 |
| | | | | 富里市 | 経済環境部環境課 | H15~22 | 設置者への補助金の交付 実施規模：40基設置予定 (うち転換10基)、249人 |
| | | | | 酒々井町 | 生活環境課 | H15~22 | 町広報紙に掲載し、啓発 実施規模：282基 (627人) |
| | | | | 印旛村 | 生活環境課 | H15~22 | 転換補助金の交付 実施規模：40基 (H15)、180万円 |
| | | | | 本埜村 | 環境保健課 | H15~22 | 転換補助 実施規模：30基 (H15) ホームページにて補助金制度・転換制度の紹介 |
| | | | | 栄町 | 都市環境整備室 | H15~22 | 設置者への補助金の交付 重点地域の個別訪問 (H15~) 実施規模：各30人 (H16~17)、各40人 (H18~22) |
| | | | | 千葉県 | 水質保全課 | H15~22 | 印旛沼流域の市町村へ転換補助制度の整備の呼びかけ |
| | | 17 | 高度処理型合併処理浄化槽の導入 | 千葉市 | 管理部業務課 | H15~22 | 補助金の交付 (寮業又はリン除去型) 実施箇所：鹿島川流域 実施規模：10基 (H15) 事業費：615万円 |
| | | | | 佐倉市 | 経済環境部生活環境課 | H15~22 | 補助金の交付 実施箇所：市内全域 (印旛沼流域内を含む) 実施規模：85基 (H15) 助成額：5,665万円 |
| | | | | 印西市 | 市民経済部生活環境課 | | 補助金の交付 (寮業又はリン除去型) 実施箇所：市内全域 |
| | | | | 千葉県 | 水質保全課 | H15~22 | 印旛沼流域の市町村へ補助制度の整備の呼びかけ |
| | | 18 | 浄化槽の適正管理 | 船橋市 | 環境部環境衛生課 | H15~22 | 浄化槽法施行細則に基づき、放流水のBODの定期的な測定を義務付けと報告 |
| | | | | 成田市 | 環境部環境衛生課 | H15~22 | 維持管理補助金の交付 実施規模：1,700基 (H15)、5,941万円 (予定) |
| | | | | 佐倉市 | 経済環境部生活環境課 | H15~22 | 維持管理に関する補助金の交付 実施規模：484基 (H15) 助成額：1,177万円 |
| | | | | 八千代市 | 経済環境部環境保全課 | H15~22 | 浄化槽の適正管理に関する啓発活動 年2回程度広報誌に掲載記事を掲載 啓発用リーフレットを自治会回覧 (2年に1回程度) |
| | | | | 八街市 | 生活環境課 | H15~22 | 広報等による啓発 ・法定検査等に関する誓約書提出 ・浄化槽完成検査時の指導 |
| | | | | 印西市 | 市民経済部生活環境課 | H15~22 | 単独浄化槽から合併浄化槽への切り替え終了後、維持管理助成制度の新設 |
| | | | | 白井市 | 環境建設部環境課 | H15~22 | 維持管理費補助金の交付 実施規模：85基 (H15)、事業費51万円 |
| | | | | 酒々井町 | 生活環境課 | H15~22 | 町広報紙に掲載 |
| | | | | 本埜村 | 環境保健課 | H15~22 | 法定検査等の受検促進 パンフレット・誓約書により、完成検査時における指導の実施 実施報告書に法定検査料金の領収書 (写) の添付 定期的に継続管理の状況報告 |
| | | | | 栄町 | 都市環境整備室 | H15~22 | 浄化槽関係パンフレット等を個別配布 (H15) 広報紙に維持管理方法を年1回以上掲載 (H16~) |
| | | | | 千葉県 | 水質保全課 | H16 | パンフレットによる設置者に対する啓発 法定検査の受検率の向上 浄化槽のデータのシステム化 (H14~16設置を対象) |
| | | 19 | 家庭における生活雑排水負荷の削減 | 印旛沼広域環境研究会 | | H15~22 | 無洗米の販売体制の強化 |
| | | | | 佐倉印旛沼ネットワークの会 | | H15~22 | 家庭雑排水対策パンフレットの配布、削減促進の理解・実施要請 |
| | | | | 印旛沼水質保全協議会 | | H15~22 | 印旛沼流域の小中学生を対象として、啓発ポスターを募集 優秀者のポスターを作成し、関係機関に配布 ろ紙袋、リーフレット等の配布 |
| | | | | 千葉県 | 環境部全部環境推進課 | H15~22 | 生活排水対策のパンフレット等の配布 |
| | | | | 船橋市 | 環境衛生課 | H15~22 | 合併処理浄化槽の適正な維持管理の説明会の実施、処理場の施設見学 |
| | | | | 鎌ヶ谷市 | 環境保全課 | H15~22 | パンフレット及びろ紙袋の作成 展覧会・広報誌による啓発事業 環境学習講座の実施 H15:体験型環境学習、地域住民との対策組織の設置、水環境アドバイザー制度の検討 |
| | | | | 八街市 | | H15~22 | 広報等による転換の啓発 |
| | | | | 印西市 | 市民経済部生活環境課 | H15~22 | パンフレット、ろ紙袋等の配布 |
| | | | | | | H15~22 | 廃食油の回収 |